えんぱち「アグリ通信」
2026年11月号
vol.80

ブロッコリー黒すす病、農薬の選び方を見直そう！
～薬剤耐性菌の発生を受け、防除体系の再点検を～

香川県では、ブロッコリー黒すす病のSDHI剤（FRACコード7）耐性菌が高頻度で確認されています。3月号では発生状況をお伝えしましたが、今回は耐性菌が増える仕組みと薬剤選択についてご紹介します。
黒すす病の発病適温は20～25℃。秋の9～11月頃、春の3～5月頃は、降雨や高湿度条件が重なると発生リスクが高まるため注意が必要です。

■ なぜ薬剤耐性菌が増えるのか？

病原菌の集団には、特定の農薬が効きにくい耐性菌が存在することがあります。同じ作用機構の農薬を繰り返し使用すると、感受性菌が減る一方で耐性菌が生き残り、増殖します。これを「選抜」といい、結果として農薬の防除効果が低下する恐れがあります。

耐性菌が増える仕組み



※菌の数・割合は説明用です。

■ 防除体系を見直そう！

商品名が異なっても、同じFRACコードの薬剤では十分なローテーションになりません。SDHI剤耐性菌の発生状況を踏まえ、異なる作用機構の薬剤を適切に選択しましょう。
多作用点殺菌剤の活用や、発病前からの予防防除も重要です。12月上市予定の「ダコニールアルファ」（FRAC M05）も、新たな防除の選択肢として期待されます。
「何を使うか」だけでなく「どう組み合わせるか」が、これからの防除のポイントです。

ブロッコリー黒すす病の主な登録薬剤とFRACコード

FRAC（系統）	主な薬剤名	注意点・備考
7（SDHI）	アフェット、カナメ、パレード20	耐性菌に注意
11（QoI）	アミスター20、ファンタジスタ スクレア、メジャー	使用回数に注意
7+11	シグナムWDG	SDHI成分を含む
19	ジオゼット水和剤	異なる作用機構
M05	ダコニールアルファ	2026年12月上市予定

※農薬登録情報（適用作物・病害・使用回数等）は、入稿前に最新情報を確認してください。
※薬剤名は一部略称。ダコニールアルファの上市時期は予定です。





製品ラベルが最新ではない可能性がございます。
最新の登録は上記2次元コードから確認ください。









スマート農業支援事業10年の歩み ～現場のニーズと技術革新が広げた可能性～

2017年にスタートした、ドローンを活用した当社のスマート農業化支援事業（農業支援サービス事業）も、2026年で10年目の節目を迎えました。これを機に、これまでの取り組みを振り返ってみました。

小豆島の生産者からの相談が出発点 事業開始のきっかけは、小豆島の生産者から寄せられた防除作業に関する相談でした。当初導入したエンルート社製Zion AC-940は、約30aごとにバッテリー交換や薬剤補充が必要で、朝から晩まで作業しても4～5ha程度の防除が精一杯でした。それでも農業現場の省力化につながる可能性を感じ、試行錯誤を重ねながら事業を進めてきました。

大容量散布への挑戦と技術革新 その後、MG-1、T20、T10、T30と機体が進化し、作業効率は大きく向上しました。しかし、これらはノズルチップ方式で、高濃度少量散布が中心でした。一方、農業現場では通常濃度での大容量散布へのニーズもありました。当社では、MG-1にアタッチメントを取り付け、動力噴霧機と組み合わせた遮光材散布など、独自の工夫による大容量散布にも挑戦してきました。その後、T25、T50、T70Pなど、アトマイザー式を採用した機体が登場。散布液量の調整幅が大きく広がり、従来は難しかった大容量散布が実用的になりました。これにより、果樹防除などドローンの活用分野が大きく広がっています。

10年間の挑戦、そしてこれから 防除面積は2017年の112haから2026年には年間1,200ha超へと拡大。水稲・麦に加え、露地野菜や柑橘類、肥料散布など、さまざまな農業現場での活用が進んでいます。この10年間は、技術革新を待つだけでなく、現場のニーズに応えるために試行錯誤を重ねてきた10年間でもあります。これからも**「農業の生産性向上に寄与する」**という思いを胸に、新たな技術と可能性を追求し、挑戦を重ねてまいります。


2017年春の麦赤かび防除（AC-940）


2022年遮光材散布（MG1+ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ）


2025年秋ｵｸﾗ高水量（T25）

10年間の取り組みを詳しく紹介
https://www.enpachi.co.jp/817/





株式会社喜多猿八
【本社営業所】
〒761-0611
木田郡三木町田中 2582
TEL 087-898-1200
【観音寺営業所】
〒768-0011
観音寺市出作町北道 1062
TEL 0875-25-3086

ジャックポット®

顆粒水和剤

アワノメイガに適用拡大!!

シロイチモジヨトウ
発生拡大の防止対策に!





BT剤の作用系統

アイザワイ系統
ヨトウ類に活性が高い
クルスターキ系統
コナガ・アオムシ・
オオタバコガに活性が高い

ジャックポット顆粒水和剤は
両方の殺虫活性を併せ持つ
ハイブリッド型新規BT剤

速く効く。*1
あの害虫にも効く。
収量に差がつく。*2
だから、





無処理 残葉率 0%　A剤 残葉率 20%　グレーシア乳剤 残葉率 90%

食害される前に駆除できる。*3

農薬用散布殺虫剤 売上No.1**

野菜・茶用殺虫剤

グレーシア®乳剤





- 有効成分フルキサメタミド配合。抵抗性コナガにも卓効
- 黒内に薬剤が浸透、葉裏の害虫も退治
- 幅広いチョウ目害虫に効果
- 殺虫効果は約2週間持続

APTIREL アプティレル
新規作用性殺菌剤

野菜の灰色かび病や菌核病、
果樹の黒星病、茶の炭疽病などに!

新規作用性を持った殺菌剤

日本の食を守る



アイーナ®20 フロアブル

農林水産省登録 第24948号

キノフメリン…20.0%

ブロッコリーのおすすめ!! 殺菌剤

先発　中継　抑え



フォリオゴールド®

使用時期：収穫14日前まで
殺菌剤分類番号 4、M5
・べと病

レーバス®フロアブル

使用時期：収穫7日前まで
殺菌剤分類番号 40
・べと病

アミスター®20フロアブル

使用時期：収穫3日前まで
殺菌剤分類番号 11
・べと病・黒すす病・菌核病

エフィコンSL

Powered by Axalion® Active

落ちる害虫、
活きる益虫。



”ブレイキン効果※”による、
抵抗性害虫への優れた効果。
即効的な吸汁阻害によるウイルス媒介抑制。
有益昆虫に影響が少ない事が確認されており、
IPM(総合的病害虫管理)に有効。
※エフィコン®SLの有効成分アクサリオン®が害虫の弦音器官を
沈黙させ、速やかに吸汁や定位といった行動を阻害する効果。
結果として、害虫が植物から落下するといった症状を引き起こす。

しっかり濡らして一網打尽!
害虫防除おすすめの2剤

丸和 野菜散布用殺虫剤
ベネビア®OD
powered by CYAZYPYR®

機能性展着剤
ドライバー®

幅広い殺虫スペクトラム!
速やかな効果!

見て実感
驚きの高濡れ性!



ベネビアODの「広範囲な害虫への速やかな効果」を
ドライバーが「瞬時に隙間まで濡れ広げて」アシスト。
厄介な害虫の防除に高い効果を発揮します。

株式会社喜多猿八

【本社営業所】
〒761-0611
木田郡三木町田中2582
TEL 087-898-1200

【観音寺営業所】
〒768-0011
観音寺市出作町北道1062
TEL 0875-25-3086





喜多社長のフィロソフィ日記「未来を見据え、今を変える」 10月17日、全従業員が集まり、第2四半期の振り返りと第3四半期の重点活動を共有する全社会議を開催した。2Qの採算はMP未達となったが、猛暑の中、水稲本田防除900haを遂行するなど、従業員の頑張りには感謝している。今回、これまでの「MVP表彰」を「仕事改善賞」に変更し、久保さんを表彰した。MVPでは大きな成果を上げた個人やチームに注目が集まりやすく、日々の業務を支える「縁の下の力持ち」に光が当たりにくい。久保さんは、どちらかといえばITが得意な方ではない。しかし、現場の困りごとや要望を拾い上げ、AIや私に相談しながら、経費申請の自動化や在庫管理のデータ化を実現した。問題に気づき、周囲の力を借りて改善を形にした姿勢を評価したい。



私は、高収益企業ほど長い時間軸で物事を考えているのではないかと思う。目先の仕事をこなすことだけに追われていては、生産性の向上にも限界がある。『7つの習慣』では、緊急ではないが重要な仕事を「第二の領域」としている。業務改善や仕組みづくり、人材育成などがこれにあたる。「今日の仕事を終わらせる」だけでなく、「明日の仕事を変える」ことに、いかに時間を使えるかが重要なのだ。

当社が取り組むアメーバ経営も、本来は未来志向の経営手法である。採算科目ごとの予定やMPを立案する際には、これからの環境を見通し、未来を予測する力が求められる。そして、描いた未来を実現するために、今何に取り組むべきかを逆算して行動する。さらに実績との差異を振り返り、予測や計画の何が甘かったのか、何を変えるべきかを考える。この繰り返しによって、未来を見通し、自ら未来をつくる力を養うことに本質がある。しかし現実には、日々の業務に追われ、改善活動が後回しになりがちである。私自身、未来に向けた活動を評価し、実践できる仕組みや社風を十分につくれていなかったと反省している。



全社会議では、私自身が進める未来への取り組みも共有した。その一つが、来年3月竣工予定の「スマート農業支援棟（仮称）」であり、会議後には上棟式を執り行った。来期春の麦の赤かび病防除からの稼働を予定し、ドローン整備環境や作業動線の改善によって、より質の高いサービスを目指す。また、来年4月には賃金・退職金制度の刷新も予定している。これらは「全従業員の物心両面の幸福追求」に向けた未来への投資であり、働く環境を整え、一人ひとりの力を高めることが、お客様への提供価値向上にもつながる。第78期のスローガン「変化を自ら生み出す力」のもと、私自身が率先して仕組みと社風を変え、全従業員とともに「農業の生産性向上に寄与する」という使命を果たしていきたい。





株式会社喜多猿八

【本社営業所】
〒761-0611
木田郡三木町田中 2582
TEL 087-898-1200

【観音寺営業所】
〒768-0011
観音寺市出作町北道 1062
TEL 0875-25-3086